

## 中央図書館基本構想基礎調査業務 審査基準

### 1 選定方法

- (1) 各委員は、企画提案書及び見積書並びに企画提案書の内容について実施するプレゼンテーションについて、「2 評価方法」に基づき審査し、その結果を審査表に記入する。
- (2) 各委員から提出された合計点数を各事業者ごとに集計し、点数の最も高い事業者1者を最も優秀であると認められたものとして選定する。
- (3) 順位点を同じくする事業者が複数あるときは、調査の実施内容の評価点数が最も高いものを最も優秀であると認められたものとして選定する。なお、調査の実施内容の評価点数も同じ場合は、委員全員の投票によって決定する。
- (4) 審査の結果、最終得点が60%以上に達しない場合は優先交渉権者として選定しない。

### 2 評価方法

- (1) 各委員は、「3 評価項目及び項目別配点」における(あ)～(か)の各項目ごとに5段階評価を行う。
- (2) (あ)～(か)の評価点数の計算方法は、次の計算式によるものとする。
- ・評価点数=配点×評価基準率（評価基準率=A：100% B：80% C：60% D：40% E：20%）
- (3) 「3 評価項目及び項目別配点」における(き)の評価点数は、次の計算式によるものとする。
- ・評価点数=配点×最低見積価格／見積価格（小数点第2以下は切り捨て）

### 3 評価項目及び項目別配点

評価対象	評価項目	配点	評価の視点		評価基準率				
					A (100%)	B (80%)	C (60%)	D (40%)	E (20%)
業務の概要	業務の概要に対する評価	10点	(あ)	本業務を実施する上での基本的な考え方や視点等	大変優れている	優れている	普通である	やや劣っている	劣っている
業務の実施体制等	業務の実施体制・スケジュールに対する評価	10点	(い)	・提案事項を確実に実行できる組織、人員体制 ・実施スケジュール	大変優れている	優れている	普通である	やや劣っている	劣っている
業務の実績	業務実績に対する評価	10点	(う)	・過去5年間に同種業務（国及び地方公共団体等の図書館、博物館、美術館、公文書館におけるアンケート調査やサービス計画に関する調査業務）の実績 ・業務実績の本業務への活用方策	大変優れている	優れている	普通である	やや劣っている	劣っている
調査の実施内容	調査内容・方法に対する評価	20点	(え)	・調査票の未記入、無回答を減らす工夫（記入マニュアルや記載例の提示等） ・調査票の回収率向上にむけた作業フロー（過去に類似調査業務においての回収実績があれば具体的に記載） ・「今後の中央図書館のあり方」（答申）を踏まえた調査内容の提案や工夫	大変優れている	優れている	普通である	やや劣っている	劣っている
	入力・集計・分析方法等に対する評価	20点	(お)	・入力、集計精度を高める取り組み ・後利用のしやすさの工夫、配慮 ・成果物（中間報告、最終報告書の構成イメージ）	大変優れている	優れている	普通である	やや劣っている	劣っている
その他	付加提案に対する評価	10点	(か)	本業務の目的を踏まえて、より効果的な成果を上げる具体的な提案	大変優れている	優れている	普通である	やや劣っている	劣っている
経費	コストに対する評価	20点	(き)	(上記の『2 評価方法』による)					